

EDU-Portシンポジウム

今後の国際教育協力への期待

令和6年3月12日[火] 14:00-17:30

場所：(対面) 全国都市会館2階 大ホール (東京都千代田区平河町2-4-2)

<https://www.toshikaikan.or.jp/access/>

(オンライン) Zoom

主催：文部科学省 言語：日本語(英語の同時通訳有)

参加費無料

平和で安定し繁栄した国際社会の構築のために開発途上国への協力とともに、ASEAN、グローバルサウス諸国との連携強化が求められる中で、我が国の国際教育協力も、変化する時代の要請に応えることが一層重要になっています。今年度のEDU-Portシンポジウムでは、様々なステークホルダーが、これまでの国際教育協力の具体的取組や好事例を共有し、今後の国際教育協力の在り方やEDU-Port事業への期待等について議論します。

プログラム

13:30 開場・受付

14:00 開会

挨拶

文部科学省大臣官房国際課

14:10 講演

JICAの教育協力とEDU-Portへの期待

国際協力機構(JICA) 人間開発部長 亀井温子

14:40 活動報告・成果事例
(エジプト)

エジプトにおける非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証

筑波大学 人間系 准教授 京免徹雄

14:55 活動報告・成果事例

日本型音楽教育の海外展開による「学び」と日本の教育への還元

(ベトナム、インド、エジプト等) ヤマハ株式会社 楽器・音響営業本部 AP営業統括部 音楽普及グループリーダー 大竹悠司

15:10 活動報告・成果事例

カンボジアでの学校保健室体制全国展開とデータ管理現地実装まで

(カンボジア)

香川大学医学部 医学系研究科 教授 清水裕子

15:25 質疑応答

15:40 休憩

15:55 パネル
ディスカッション

今後の国際教育協力への期待

東京大学公共政策大学院 教授 鈴木寛

東京大学大学院 教育学研究科 教授 北村友人

国際協力機構(JICA) 人間開発部長 亀井温子

筑波大学 人間系 准教授 京免徹雄

ヤマハ株式会社 楽器・音響営業本部 AP営業統括部 音楽普及グループリーダー 大竹悠司

香川大学医学部 医学系研究科 教授 清水裕子

16:45 閉会・事務連絡

16:50 ポスターセッション

公募事業実施機関からの発表

(対面のみ)

17:30 終了

講演、パネルディスカッション



亀井 温子

独立行政法人国際協力機構
(JICA) 人間開発部長

独立行政法人国際協力
機構(JICA)人間開発部
長。民間企業、米国非
営利法人勤務を経て、

旧国際協力事業団(現JICA)入団。ネパ
ール事務所、人間開発部、南アジア
部、ジェンダー平等・貧困削減推進
室、カンボジア事務所等を経て、現
職。米国コロンビア大学国際公共
政策大学院にて公共経営修士号(MPA)
取得。関心分野は、南アジア、ジェ
ンダーと開発、教育開発、開発援助
の政策・モダリティ・サービスデリ
バリー等。



鈴木 寛

東京大学公共政策大学院
教授

東京大学法学部卒業。
通商産業省、慶應義塾
大学助教授を経て参議
院議員(12年間)。

文部科学副大臣(二期)、文部科学
大臣補佐官(四期)などを歴任。教育、医療、スポーツ、文化、科学技術
イノベーションに関する政策づくりや
各種プロデュースを中心に活動。現
在、OECD教育スキル局教育2030
プロジェクト役員、World Economic
Forum Global Future Council
member等を兼務。



北村 友人

東京大学大学院
教育学研究科 教授

カリフォルニア大学ロ
サンゼルス校大学院教
育学研究科博士課程修
了。博士(教育学)。

専門は、比較教育学、国際教育開発論。
国連教育科学文化機関、名古屋大学、上
智大学を経て、現職。東京都教育委員も
務める。主な研究テーマは、(1) 途上国
における教育政策や教育実践、(2) アジ
アにおける高等教育の国際化と「知識外
交」、(3) 「持続可能な開発のための教
育(ESD)」を通じた市民性の育成。近
著に『SDGs時代の教育(編著、学文
社)』。

活動報告・成果事例



京免 徹雄

筑波大学人間系
准教授

早稲田大学大学院教育
学研究科・博士後期課
程修了。博士(教育学)。
専門は、特別活動、キャ
リア教育、比較教育学。愛知教育大学等
を経て現職。日本特別活動学会、日本キ
ャリア教育学会、日本職業教育学会、ア
ジア職業訓練学会理事。国立教育政策研
究所生徒指導・進路指導研究センターの
協力者も務める。主な研究テーマは、教
科外活動の国際比較および海外展開。近
著に『現代キャリア教育システムの日仏
比較研究』(単著、風間書房)、『教師
の社会学』(編著、勁草書房)。



大竹 悠司

ヤマハ株式会社
楽器・音響営業本部
AP営業統括部
音楽普及グループ
リーダー

筑波大学第三学群国際総合学類卒業。
2006年ヤマハ株式会社入社。日本国
内やアジア太平洋地域で楽器の営業を
行う一方、新興国での楽器演奏人口拡
大に向けた施策に従事。

「EDU-Portニッポン」には同事業が
始まった2016年より参画。インドネ
シア(2012-15)、ドイツ(2020-23)駐
在を経て2024年1月より現職。



清水 裕子

香川大学医学部・
医学系研究科 教授

専門は、慢性期成人看
護学、看護教育学、看
護心理学等。聖母女子
短期大学、埼玉医科大
学、首都大学東京、香川大学副医学部
長、ダイバーシティ推進室副室長を
経て、現職。主な研究テーマは、ドイ
ツの研究者とのスピリチュアルケア研
究、対話技法とシミュレーション教育
研究、医工連携によるリラクゼーシ
ョンケア用品開発、日本型教育の海
外技術移転等、著書『ヒューマンケ
アと看護学』編著、『認知症ケ
アブック』編著他。

参加申込み・お問合せ先

参加は無料です。下記URLより申込フォームに必要事項を記入の上、ご登録ください。

<https://survey.zohopublic.com/zs/RCBTF5>

お申込み締切：3月7日(木) 正午

お問合せ先：EDU-Portニッポン事務局／株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング

Email：ml-eduport@k-rc.co.jp

電話：03-3288-1164/070-4284-0592/070-2828-3257 (平日10時～17時)



お申込はこちら

